

## (2) 農業の展開方向について

### 想定課題

国会等の移転に伴って、那須地域の農業経営に様々な影響があると考えられるが、地域農業はどのように展開していくべきか。

### 対応方向

那須地域は、米麦や畜産を中心に大規模で先進的な農業経営が営まれており、全国でも有数の農業地帯を形成しています。

このため、国会等の移転に伴って、定住人口や交流人口の増加による農林水産物の需要増大や、那須ブランドの全国的な知名度の向上などを積極的に生かすことにより、収益性の高い農業経営の一層の展開が図れるものと考えます。

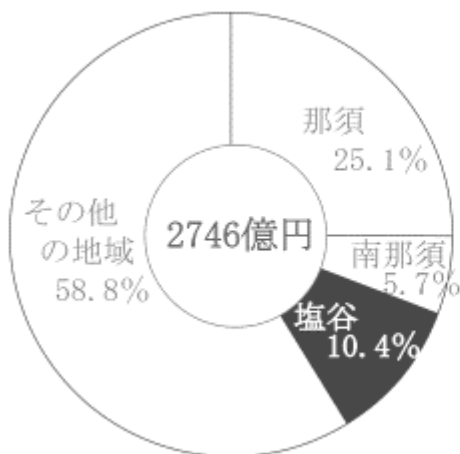
また、那須に立地する新しい都市は、環境共生型のモデル都市であるとともに、世界各国から人々が集まる国際都市でもあることから、より安全性の高い農産物や世界各国の料理に使用する農産物の生産など、農業に対する新しいニーズが発生することが考えられます。

特に、消費地近接の立地条件を最大限に生かした園芸等の集約型の農業を振興することによって、地域全体として収益性の高い農業生産が行われることが期待されます。

このように、国会等の移転を新たな農業の展開を図る機会としてとらえ、「首都圏農業」の加速的な推進を図ることによって、一層の農業振興が可能であると考えます。

### 那須地域の農業の現状

県全体の農業粗生産額にみる  
那須地域の割合〔平成 12 年〕



3 ha 以上の経営農家数の割合  
県と那須地域の比較〔平成 12 年〕

